令和4年度　釧路支部　活動報告

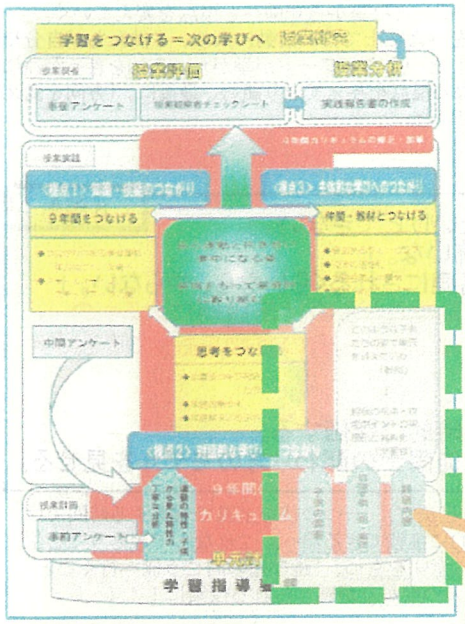
令和５年　４月２２日（土）

1．研究内容について

○釧路支部　研究主題

『自ら運動と向き合い、夢中になれる子供の育成』～つながる体育学習～

○研究の概要図



授業づくり研修会の様子（実技研、授業づくりに係る協議、悩み交流等）

令和４年度は、特に「どのような子供を育てたいのか（目指す子供の姿）」を明確にできるよう、「体育授業づくり研修会」を月１回実施し、互いに子供観・授業観・教材観・評価観等を学び、広げ、深めていくことに重点を置いた。

2．釧路支部の取組

（１）令和４年度活動報告

① 6/30（木）…第１回授業づくり研修会（参加者：13 名）
・内容：小学５年「短距離走・リレー」授業動画観察・協議、日常の指導で悩んでいることの交流

② 7/21（木）…第２回授業づくり研修会（参加者：17 名）
・内容：体育専科教諭による北海道体力向上推進会議の還流報告、ベースボール型の授業実践交流

③ 8/ 2（火）…第３回授業づくり研修会（参加者：32 名）
・内容：夏休み特別講座「釧路町立遠矢中学校長　佐藤毅先生による体育授業テクニック伝授　実技研修会」
午前・午後の２部構成で実技研修、質疑応答、実践交流

④ 9/16（金）…第４回授業づくり研修会（参加者：12 名）
・内容：講師　北翔大学　今竜一先生、大阪体育大学　小林博隆先生による「体つくり運動（エアロビクス）実技研修会」、指導実践交流

⑤10/ 6（木）…第５回授業づくり研修会（参加者：11 名）
・内容：中学２年「バスケットボール」指導案検討・協議、日常の指導で悩んでいることの交流、10 月 19 日（水）授業公開・研究協議（釧路市立春採中学校：杉山輝先生）

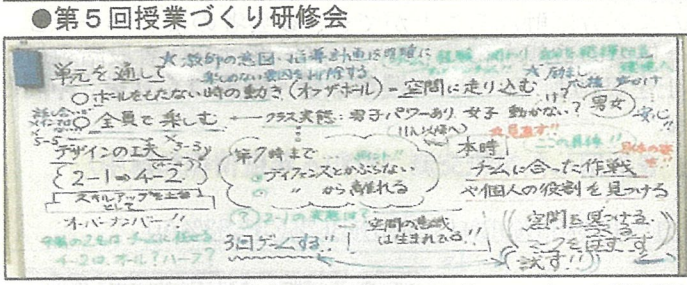
⑥11/17（木）…第６回授業づくり研修会（参加者：15 名）
・内容：小学３年「ハンドベースボール」授業動画観察・協議、体育エキスパート教員：鈴木京典先生による講話、全道体育上川大会の報告など

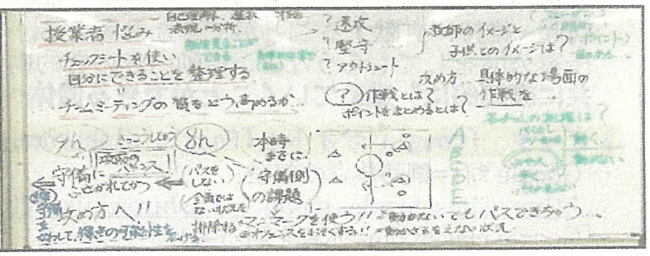
⑦12/26（月）…附属釧路義務教育学校「授業力向上セミナー」連携企画（申込者：62 名）
・内容：小学６年・中学２年「跳び箱運動」授業動画観察・研究協議、全道・全国各地から参加・交流、助言など

⑧ 2/16（木）…第７回授業づくり研修会（参会者：12 名）
・内容：令和元年度全道体育釧路大会の実践・授業者の工夫から学び直す、今だからできる対話的な学び実践交流など

（２）活動報告（詳細版）※第４回までは、前回の全道大会資料で報告済

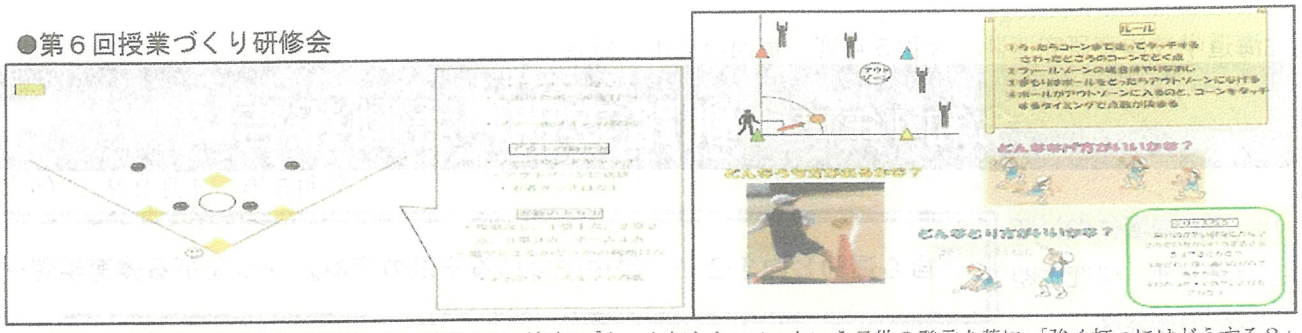
●第５回授業づくり研修会





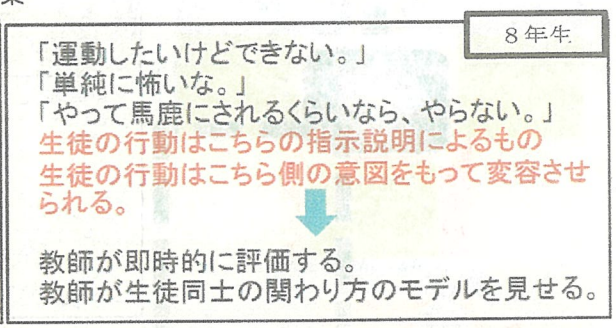
○目指す子供の姿・・・本時では「ボールを持っていない人が空間に走り込みチャンスをつくろうとしている姿」がねらい。
・教師の指導計画・意図は、子供の実態に即して明確にする。目標・目指す姿を明確に！！
・男女の隔たり、ボールに対する恐怖感、人間関係における恐怖感など、「楽しめない要因」を分析し、できるだけ排除する＝安心して取り組める環境へ！！そのための教師の関わり（肯定的な声掛け、ルールの工夫、スモールステップで挑戦し続けられる単元のデザインなど）を意識する！！

●第６回授業づくり研修会



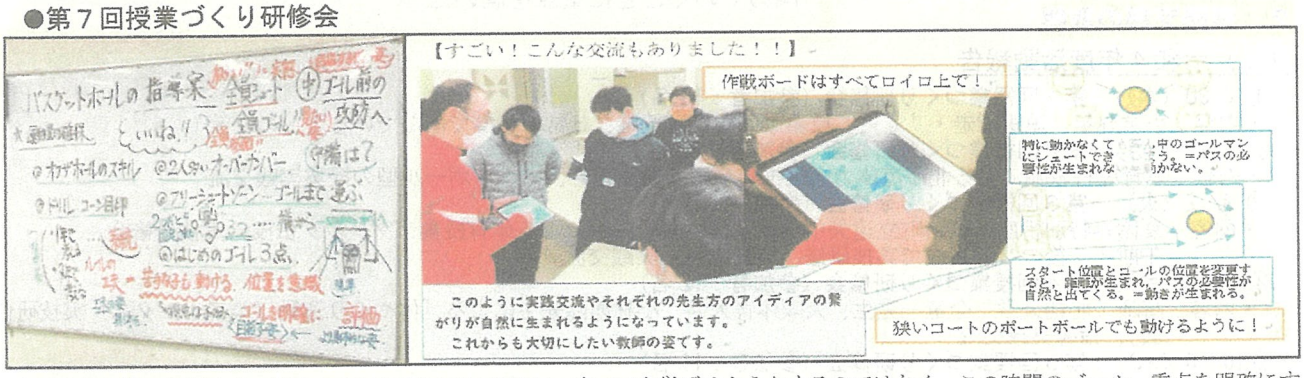
○思考をつなぐ単元構成～動画視聴した２時間目は、前時の「もっと打ちたい！」という子供の発言を基に、「強く打つにはどうする？」という課題を設定。・次時は、打てるようになったから、次は「どうアウトをとるか？」と攻撃から守備へと視点を変えていく。
○視点をもたせた協働的な活動～「腕や体をどうしたらよいかな？」と具体的な視点を与えた上で打つ活動に入り、子供たちが自分や友達の動きを基に、試行錯誤を始めていた。そこから、「体重移動」や「当てる場所」というキーワードが挙がり、それをきっかけに前時，遠くに上手く飛ばしていた子を例に「高く飛ばすためにはどうするか？」と次の視点を与えて取り組む。最後に、「方向を変えるには，『立つ位置』をどうしたらよいか？」という視点をもって活動に取り組んでいた。

●附属釧路義務教育学校「授業力向上セミナー」連携事業



○６年生と８年生で意識した「つながり」＝自分のやりたい技を選べる（自己選択・自己決定）。一つの技を全員で習得する時間ではなく、自己選択・自己決定をして、こだわりをもつ。こだわりをもつために、段階的に挑戦できる場へ。これならできそうだを生む環境設定＝挑戦する場が、技のつながりのある場に！！誰もが挑戦し続けることに意味をもつ。“跳び箱の向こう側へ行くこと”自体に価値を感じられるように。互いに見合い、互いの空間を尊重する。＝仲間とのつながりが感じられる授業に！！！

●第７回授業づくり研修会



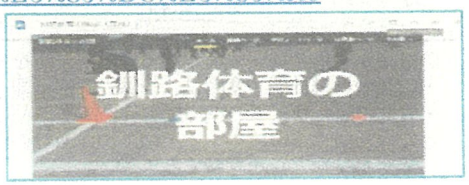
○具体的な姿で評価する＝何をねらいに置いているのか。すべてを学ばせようとするのではなく、この時間のゴール、重点を明確にする。総括的評価【学習状況の判定（評定）のための評価】と形成的評価【指導を改善し子供を伸ばすための評価】を混同させない。
○主体的・対話的に学ぶための手立て･･･作戦などの思考を共有するためにロイロノートを上手に活用する、狭いコートでも主体的に動けるようにするために場を工夫する。＝**先生方の自然な実践交流から、明日への授業に生かそうとする姿が見られるようになった。**

３．釧路支部の今後の展望

○今年度、授業づくり研修会を月１度程度行い、若手教員のニーズがあると強く感じた。今年度も、若手教員と中堅教員が共に学ぶ場を提供し、互いに交流することを通して、子供観・授業観・教材観・評価観等、共に「観」を磨き合えるようにしていく。**＝仲間と共に“つながり”、高め合える団体へ。**
○附属釧路義務教育学校前後期課程合同で行う授業力向上セミナーと連携し、釧路にゆかりのある研究者を招いた。授業研究に関わって、多様な他者の考え方に触れることができ、参会者のモチベーション喚起・維持に貢献することができたと考える。今年度の取組を継承しつつ、来年度は初任者段階教員に授業公開をしてもらうなど、活動内容の質的向上を目指していく。**＝授業改善・授業づくりを“仲間と共に継続的に”進めていくことができる団体へ。**

トピック．「Google サイト」「Google classroom」を活用した情報交流（令和４年度情報加筆中）

・「Google ｻｲﾄ=釧路体育の部屋」
https://sites.google.com/view/kushiro-taiiku-2021/%E3%83%9B%E3%83%BC%E3%83%A0

・「Google classroom=体育を語る会」
https://classroom.google.com/u/0/c/MzUyMzY5NjM2MDcz

学習カードや授業動画、その他、体育に関わる情報を研究部員で随時更新中！！